



SFoods News

平成19年2月期

平成18年3月1日～平成19年2月28日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況についてのご報告

当連結会計年度におけるわが国の経済は、輸出関連を中心とした企業業績が景気を支え、11月には景気拡大期が戦後最長となりました。しかしながら、内需の回復は遅れており、消費者物価も足踏み状態でありました。食肉業界においては、消費の伸び悩みや原料価格の高騰など厳しい経営環境が続きました。その中で、**米国産牛肉の輸入が平成18年7月27日に再開されたことは、外食業界を始め、食肉関係者には明るいニュースとなりました。**米国産牛肉については、輸入条件の制約により、徐々に市場に出回ることはありませんが、徐々に輸入量は増えていくものと思われま

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc.(コード番号 2292東証・大証1部)
設立	昭和42年5月22日
代表者	代表取締役会長 森島征夫 代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉の卸売事業、製品事業、食肉の小売事業

株式メモ

定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 2月末日 剰余金の配当 期末 2月末日 中間 8月31日
公告の方法	電子公告 電子公告は下記の当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 (http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所(お問い合わせ先)	T530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)
同取次場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。	
電話(通話料無料)	0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
インターネットホームページ	http://www.tr.mufg.jp/daikou/
単元株式数	500株



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
<http://www.sfoods.co.jp/>



この冊子は、100%再生紙を使用し、印刷には大豆油インキを使用しています。

このような情勢の中、当社グループは、国産や輸入の牛肉・豚肉を中心とした食肉の卸売事業、主に牛肉・豚肉を加工した製品事業、そして食肉の小売事業の中核3事業の強化に努めました。食肉の卸売事業



店頭に並ぶ米国産牛肉

に関しては、前連結会計年度より営業拠点の整備を進めており、この一環として、平成17年10月に、既存の2営業所を統合しミートセンターを併設した名古屋営業所を開設し、中部地区における営業活動の拡充に努めました。

また、新たな営業拠点として、平成19年4月に九州地区、10月以降に京滋地区に同様の営業所を開設する予定であります。

製品事業につきましては、当社独自の加工技術を使った食肉製品の開発と地道な営業活動を重ね、マーケットシェアの回復と工場稼働率の向上に努めました。具体的には豚大腸を原料とした「とんてっちゃん」や「もつ鍋」、豪州産牛肉を当社技術により日本人好みのおいしさに加工した「あじわい工房」などを引き続き品質改良し販売強化をいたしました。さらに、平成18年8月には、一部地域限定ながら2年振りに「こてっちゃん」の販売を再開しました。「こてっちゃん」につきましては、今後原料の入荷状況に応じて、販売地区を拡大していく予定であります。



販売を再開した「こてっちゃん」

食肉の小売事業につきましては、グループ会社である株式会社オーエムツーネットワークが中心となつて展開いたしております。連結子会社化の2年目に当たる当連結会計年度におきましては、グループ間の取引がより緊密度を深め、収益に貢献いたしました。尚、当社におきましては、



3月に新たにグループに加わった「焼肉の牛太」

小売事業と同様に食肉流通の川下展開として焼肉レストランなどの外食事業にも注力していく予定であります。以上の結果、当連結会計年度の売上高は、1,141億5千万円(前年同期比23.2%増) 経常利益は42億3千2百万円(前年同期比72.9%増) 当期純利益は15億8千1百万円(前年同期比60.0%増)となりました。

対処すべき課題

当社は総合食肉企業グループとして、消費者に健康的で栄養価の高い食品を質・量・価格共に安定的にお届けすることで、食生活の向上と食文化の普及に貢献してまいります。

当面の課題は、米国産牛肉の輸入再開を受け、米国を主体とする海外原料調達ルートを再構築し製品事業を強化すること、グループ企業間の取引増大や連携強化により、グループ利益の極大化を図ること、また、コンプライアンス経営をモットーとし内部統制体制を確立することにより、企業価値の増大を図ることとあります。更に、中長期的にはグループ企業との連携を蜜にし、グループ経営の強化と効率化を図ると共に、新たな事業領域に挑戦することにより、グループをさらに活性化してまいります。

今後の見通し

昨年7月米国産牛肉の輸入が再開されたこと、営業所の拠点整備が進みつつあること、「こてっちゃん」の販売を再開したことなどの要因が、今後徐々に当社の業績に反映されていくものと思われれます。

食品業界全体では厳しい環境が続きますが、当社は上述の理由により緩やかながら業績は伸びていくものと予想しております。次期の見通しについては、売上高1,200億円(当期比5.1%増)、経常利益45億円(当期比6.3%増)、当期純利益20億円(当期比26.5%増)を見込んでおります。

営業成績と財産状況の推移(連結)

期別 区分	第39期	第40期	第41期	第42期見通し
	平成17年2月期	平成18年2月期	平成19年2月期	平成20年2月期
売上高	56,266	92,676	114,150	120,000
営業利益	1,707	1,896	3,961	4,300
経常利益	1,960	2,447	4,232	4,500
当期純利益	1,043	988	1,581	2,000
総資産	37,094	46,551	45,845	
純資産	27,385	28,237	32,336	

単位:百万円

インフォメーション

こてっちゃん 販売再開について

原料事情により平成16年5月に「こてっちゃん」の販売を休止して2年余り、多くのお客様からお問い合わせや励ましのお言葉を頂戴しました。少しでも早くお待ちいただいているお客様に「こてっちゃん」をお届けしたい、そんな気持ちで努力を続け、昨年8月に再開販売にごぎつきました。しかしながら数量に限りがあるため、現状では販売地域を西日本地区(九州・中国・四国・関西・東海)に限らせていただいております。今後、原料の調達状況により、徐々に販売区域を広げてまいります。



新製品 ごあんない



美容・健康への関心が高い主婦・独身女性をターゲットに、新たなブランドを立ち上げました。「牛すじやレバーが体に良いことは知っているし、食生活に取り入れたい。でも、食べ方や調理方法が分からない。」こんな主婦の悩みを解決します。



牛すじ春肉
炒めの具



レバー炒めの具



牛すじクッパ
(ユッケジャン)



牛すじクッパ
(パイタン)

株主ご優待のお知らせ

株主の皆さまへの感謝の気持ちを込め、保有株式数に応じて2タイプのご優待セットをご用意しました。エスフーズならではの深い味わいをご賞味ください。

対象: 毎年2月末日現在の株主名簿及び
実質株主名簿に記載された
1単元(500株)以上保有の株主さま

贈呈時期: 11月(予定)

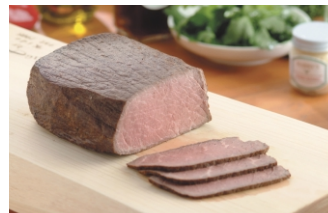
ご優待内容: 500~1,999株保有の株主さま
「3,000円相当の自社製品(ローストビーフ等)」
2,000株以上保有の株主さま
「10,000円相当の国産牛肉(和牛)」

国産牛肉(和牛)



ご優待のために特別に選んだ当社自慢の国産牛肉を、株主さまのお好みのカット(しゃぶしゃぶ、ステーキ、焼肉)にてお届けいたします。

ローストビーフ



豪州牛の高級ブランド「Naruo牧場」のもも肉を、ブロックのまま肉の旨みをのがさない当社こだわりの製法で調理し、お届けいたします。

写真はイメージです。料理写真の野菜・仕器等はご優待セットに含まれていません。

株価の推移と株式の売買高

